

大船渡市林野火災の消防活動の概要

総務省消防庁

岩手県大船渡市の林野火災における消防機関の対応①

消防庁による緊急消防援助隊の部隊運用

2月26日

- 13:02 大船渡地区消防組合消防本部が火災を覚知
- 15:34 岩手県知事から緊急消防援助隊の応援の要請
- 15:34 消防庁長官から緊急消防援助隊の出動の求め

※ 以後、延焼状況を踏まえて部隊を増強し、**15都道県**から**緊急消防援助隊**が出動
地元消防本部等を含め一日当たり最大2,100人規模で活動

〔出動の求めを受けた15都道県〕

北海道、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、静岡県

※ 消防防災ヘリは最大8機体制で運用

3月9日

17:00 大船渡市長が鎮圧宣言

4月7日

17:30 大船渡市長が鎮火宣言

消防活動の概要

緊急消防援助隊、岩手県内消防応援隊、地元消防本部・消防団により、

- **市街地への延焼防止を主眼に**、地上隊は、24時間体制で**消火活動**及び再燃に備えた**巡回活動**を実施。
- **消防防災ヘリによる上空からの消火活動**や火災状況の**偵察**を実施。



3月1日、大船渡市綾里地区
提供：新潟市消防局



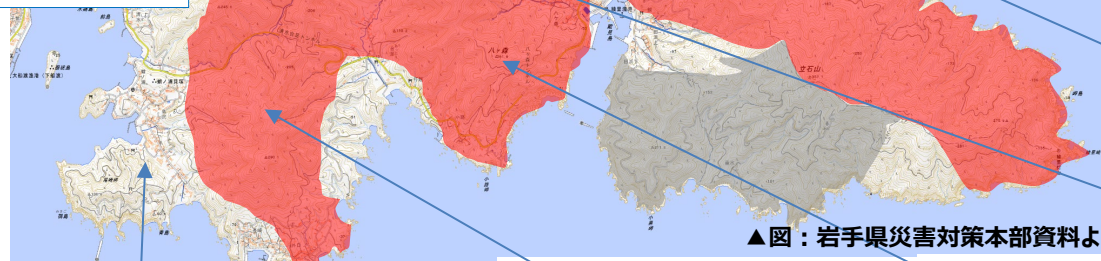
消防防災ヘリコプターによる消火（全域）



3月4日、大船渡市小石浜地区
提供：鶴岡市消防本部



3月3日、大船渡市綾里地区
提供：東京消防庁



▲図：岩手県災害対策本部資料より



3月4日、大船渡市西側海岸地区
提供：横浜市消防局



3月3日、大船渡市合足地区
提供：仙台市消防局



3月9日、大船渡市合足地区
提供：新潟市消防局



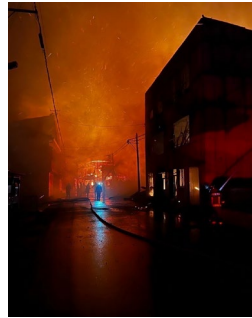
3月8日、大船渡市綾里地区
大船渡市消防団が残火処理を実施

岩手県大船渡市の林野火災における消防機関の対応②

陸上部隊

活動初期

- 消防団・地元消防本部が、林野から住居へ拡大した延焼に対し、消火活動などを実施（写真：綾里市街地）
- 県内応援隊も出動し、連携して活動を実施



緊急消防援助隊出動後

- 緊急消防援助隊は、地元・県内消防と連携し、航空機による消火活動とも調整しながら、市街地への延焼阻止活動を実施
- エリアが広いことから、4つの方面別に指揮体制を構築して活動
- 24時間体制で活動を継続し、
 - ・市街地への延焼阻止活動
 - ・空中消火が有効ではない地域への地上からの消火活動
 - ・夜間の消火活動、巡回警戒 などを実施
- 緊急消防援助隊保有の車両・資機材を活用し、水利を確保しながら活動（ドローン・スーパーポンパーなど）



指示・調整

消防応援活動調整本部（岩手県庁・統括指揮支援隊）

- ・ 消防活動全体の総合調整（関係機関調整含む。）
- ・ 統括指揮支援隊は、緊急消防援助隊の総合指揮

連携

航空部隊

航空運用調整班

- ・ 関係機関で構成され、被災地内の航空機の運用全般を調整

指示・調整

指示・調整

消防ヘリ

- ・ 市街地に近い山林地域での延焼阻止を目的とした消火活動
- ・ 赤外線カメラを活用した熱源偵察など



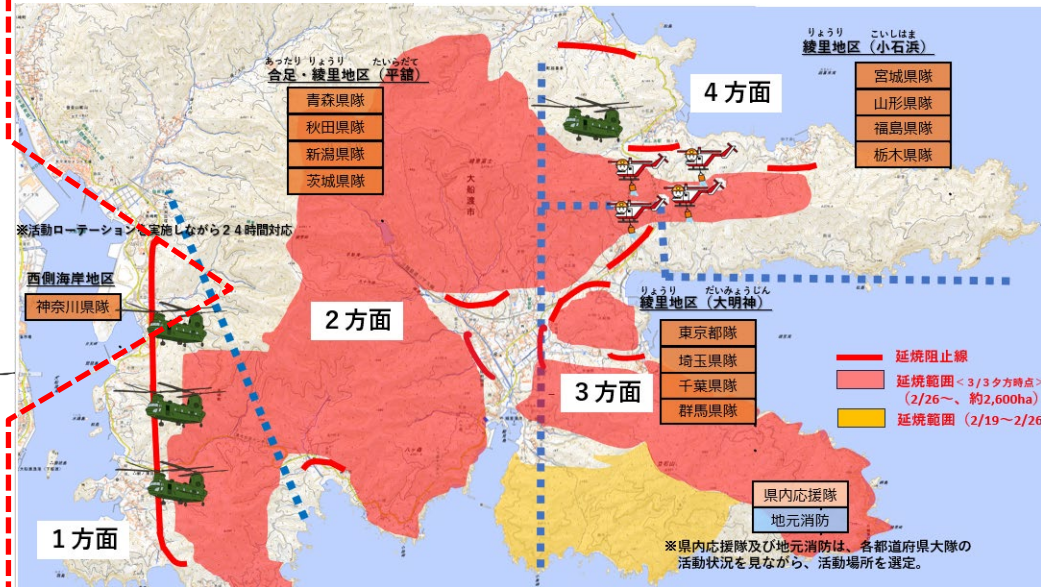
自衛隊ヘリ

- ・ 火勢が強い山林地域での消火活動
- ・ 偵察活動など



岩手県大船渡市の林野火災における消防機関の対応③

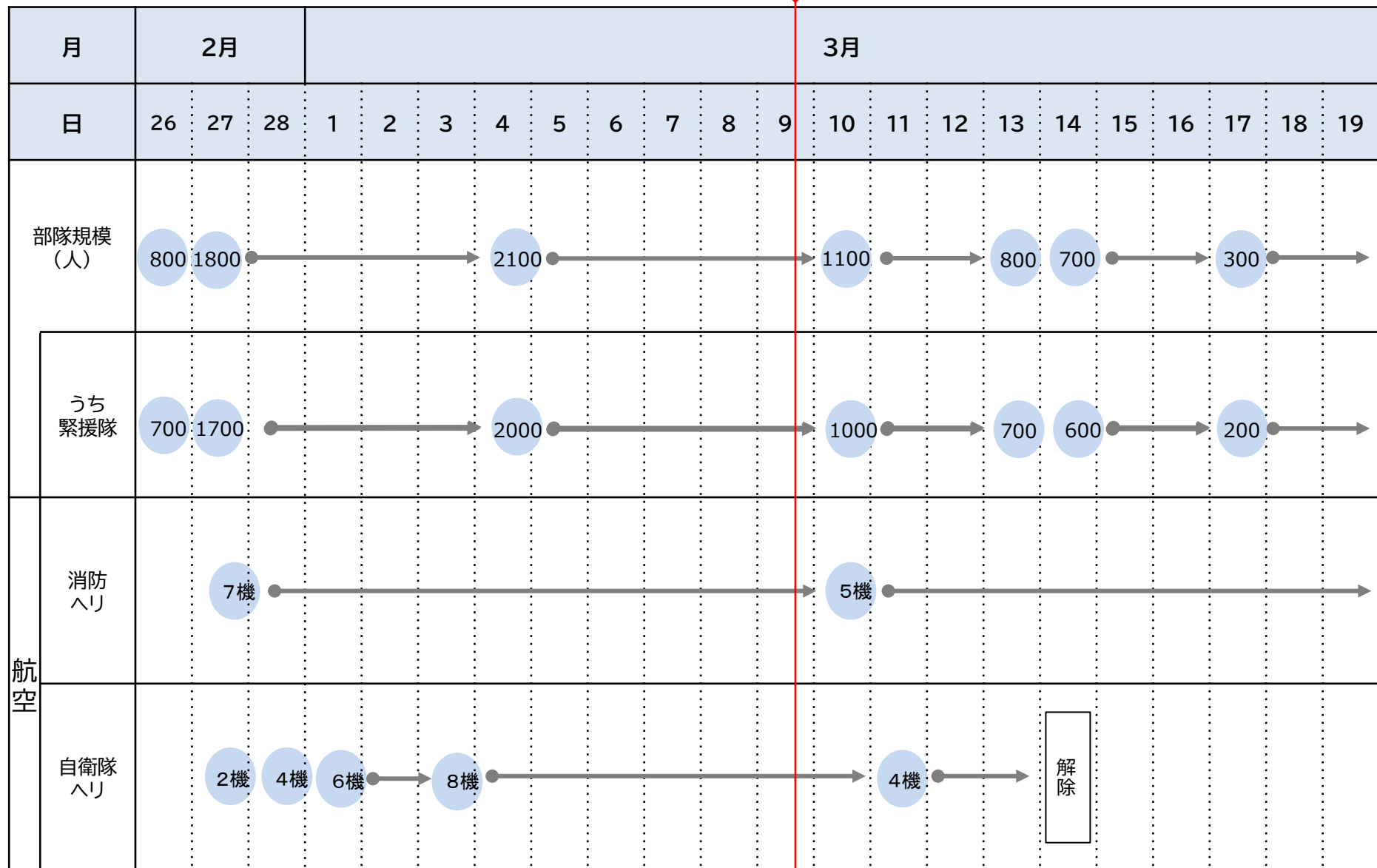
令和7年3月4日時点



- 第1～第4方面に分け、方面毎に都道府県大隊及び指揮支援隊を配置
- 陸上部隊は、市街地への延焼を防止するため、延焼阻止線（赤線）を設定。
 - ・住家間近に炎が接近している場合には直接消火、
 - ・住家までにやや距離があり火の粉が飛んでいる場合は予防散水、
 - ・住家までにさらに距離がある場合は警戒と散水準備を行う。
- 水利不足に対処するため、自然水利を用いて大量放水が可能な海水利用型消防水利システム(スーパーポンパー)等を活用し活動。
- 航空部隊は、消防防災ヘリと自衛隊ヘリとで区域を分担し、山林の空中消火・偵察活動等を実施

岩手県大船渡市の林野火災における活動人員の推移

活動人員の推移



※ 消防防災ヘリの機数は、ヘリの確保機数であり、気象条件等で日々の機数には増減がある。